

緑丘さつぽろ

第95号 ■平成25年6月1日
編集 ■緑丘会札幌支部広報委員会
札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55 3F
http://www.ryokyukai.com/
E-mail:ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp
印刷 ■岩橋印刷株式会社



風わたる
峯田榮子(昭和45年卒)

平成25年(2013年)緑丘会札幌支部

年次大会のご案内

木々の緑が鮮やかな季節となりました。
本年の年次大会を右記の要領にて開催致します。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

申込み 緑丘会札幌支部
☎/FAX: 011-231-6900
MAIL:ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

- と き 平成25年6月15日(土)
午後3時半より
- ところ サッポロビール園 開拓使館1階
(東区北7条東9丁目 ☎0120-150-550)
- 会 費 4,500円
- プログラム
15:30 バイオリンミニコンサート
16:00 札幌支部年次総会
16:30 懇親会&新入会員歓迎会
- ご招聘
篠崎 恒夫 名誉教授

目次

ごあいさつ 緑丘会札幌支部 副支部長 小山高史	2	緑丘祭の復活にあたって—Show Diving!— 吉田匡克	8
年次大会のご案内	3	囲碁逍遙 宮 充	9
進化するビジネススクール 古井新悦	4~5	緑丘サテライトセミナー報告 福井郁子	10
「OBS10周年記念事業」について	5	女子部会だより 平田尚美	10
「東日本大震災からの復興へ向けて」	6	各年度行事情報	11
新年交礼会を終えて 長瀬康司	7	編集後記	12

ご挨拶～ 支部活動のなお一層の活性化を

緑丘会札幌支部
副支部長

小山 高史
(昭和49年卒)



「緑丘さっぽろ」新年号で田尾支部長からお話のあった、職場の緑丘会を担当する副支部長として、本年2月の新年交礼会と同時に開催された臨時総会で選任されました。

私と緑丘会札幌支部の本格的な係わりは、卒業後25年を経過して年次大会や新年交礼会の年度幹事を務めさせていただいた平成10年頃からですから、もう15年程になります。

当時の横井支部長、中本副支部長、宮崎幹事長の下、副幹事長として活動させていただきましたが、特に中本副支部長には色々な面で大変お世話になると共に、緑丘会を超えた人脈の広さ、また考え方の柔軟性等に大変感銘を受けた思いが記憶に残っています。

同窓会活動としては、札幌支部での活動の前から、職域支部であります緑丘会札幌市役所支部(359人在籍：平成25年1月現在※)の活動にも積極的に係らせていただき、現在、顧問を務めさせていただいております。

地方自治体の場合、個人・法人を問わず住民対応が仕事の原点であります。市役所の緑丘同窓の先輩・同僚や庁外の先輩諸氏との交流やご指導によって、どれだけ助けて頂いたか分かりません。当時の先輩の後輩を思う熱い気持ちを、これから後輩に伝えていきたいと思っております。

近頃、同窓会離れが進んでいるように感じられるところではありますが、これは、私が札幌支部の当番年度幹事や副幹事長を務めはじめた頃から言われている課題であります。

このような長年の課題の状況を改善していくためには、田尾支部長が掲げられた、「同窓会に参加したくなる場所の提供」と「参加することにより何かを得ることができる」ような魅力ある支部活動にしていかなければ、若手会員をはじめとする多くの会員の支持は得られないのではないかと思うところでもあります。

「札幌支部会合への1000人出席」を目指して、矢継ぎ早の改革を進めておられる支部長を支えるため微力ながら力を尽くしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

今後、皆様には職域支部或いは職場単位での緑丘同窓会活動に関して、ご支援・ご協力をお願いに伺うことも考えておりますので、よろしくお願い致します。

※平成24年度の札幌市職員への緑丘同窓の採用者数は、35人に上り、4年生課程卒業者としては過去最多になっている。

**Re BORN
CROWN**

今を変えるために生まれた。

週末は札幌トヨタへGo▶

札幌トヨタ

※掲載車両は、市販モデルとは仕様の一部異なる場合があります。ボディカラーは、2013年末に発売予定している特別色です。

札幌トヨタ 検索 ▶

お客様相談テレホン/フリーダイヤル

0120-030040

平成25年 緑丘会札幌支部年次大会のご案内

と き 平成25年6月15日(土)
 ミニコンサート：午後3時30分～
 総 会：午後4時～
 懇 親 会：午後4時30分～

と ころ サッポロビール園 開拓使館1階
 トロンメルホール
 (東区北7条東9丁目 ☎0120-150-550)

交 通 サッポロビール園・アリオ線直通バス
 札幌駅北口2番乗り場より約7分(200円)

会 費 4,500円



今年の会場は昨年と替わって1階となり、階段でご不便をおかけすることもなくなりました。

生ビール・ドリンク飲み放題、ジギスカン食べ放題(枝豆・おにぎり付)でございますので、先輩も後輩も一同に会し、札幌の初夏をともに満喫出来ればと思っております。

また今年も、総会に先立ちミニコンサートを予定しております。小樽商科大学室内管弦楽団OBの松本賢太さんによるバイオリン演奏をお楽しみください。

ゼミの先生は、篠崎恒夫名誉教授をご招聘いたしました。在学中の昔とご活躍の今をおおいに語らい、交歓していただければ幸いです。

同期同窓はもとより、クラブ・サークル・寮・職場等、あらゆるご縁をお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

会券は下記をご利用ください。または支部ホームページからダウンロードすることもできます。会費の精算は、〈当日各自受付にてご精算〉となります。

席の準備上、6月8日(土)までに各年度幹事、または支部事務局まで卒年とお名前をご連絡の上、お申込みくださいますようお願い申し上げます。

緑丘会札幌支部 事務局

電話&FAX:011-231-6900 メール:ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

▼〈会券〉は以下の通りです。当日の受付でも別途用意いたします。▼

キリトリ線

平成25年(2013年)緑丘会札幌支部

年次大会

●と き 平成25年6月15日(土)
 ミニコンサート 午後3時30分～
 総会・懇親会 午後4時～

●と ころ サッポロビール園 開拓使館1F
 (東区北7条東9丁目 ☎0120-150-550)

●会 費 4,500円



お名前

ご卒年

(昭 ・ 平)

年 卒

以下、初めてご参加の方、変更のある方はご記入ください。

ご住所

電話・アドレス

(自宅 ・ 勤務先)

所属ゼミ・部・サークル

進化するビジネススクール ～小樽商大ビジネススクール設立10周年を迎えて～



古井 新悦
(MBA平成18年卒)

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻(小樽商大ビジネススクール、以下OBS)は平成16年4月、東北以北初の国公立大学ビジネススクールとして開校しました。当時は62名が受験し、40名が合格、そのうち38名がOBS1期生として入学し、私はその1期生の一人です。授業は土曜日が小樽商大本校で、平日の夜が札幌市役所の向いにある北海道経済センタービルの7階にあった札幌サテライトで行われ、2年目の平成17年4月から平日の授業はJR札幌駅に隣接する現在の札幌サテライトで行われることになりました。我々1期生が現在の札幌サテライトを見たときの感激は忘れることができません。こんな素晴らしい環境で勉強が出来ることになり、2年目のモチベーションが一層高まった記憶があります。本当に今でも緑丘会のご支援に感謝する次第です。さらに緑丘会札幌支部のご支援をいただき、平成18年3月卒業した1期生によって現在のMBA会が発足しました。同会の会員数は平成25年3月末現在96名となっております。

今年4月、OBSは開校から10年が経ち、新たに35名の10期生を迎えることになりました。これまで来られたのは、大学側のOBSに対する熱意と緑丘会によるあたたかいご支援があったことは言うまでもありませんが、その大きな要因、すなわちMBA流に言うとKFS(Key Factor for Success)は

OBSが「進化するビジネススクール」であったことにあると思います。

その「進化」の一つ目が時代の変化に対応したカリキュラムと講師陣です。カリキュラムのうち必修である基本科目5科目は開校時から変わらず続いているのですが、平成25年度で14科目ある基礎科目や19科目の発展科目は新たな科目も含め内容が変ってきています。また、グローバル化の流れに対応した国際教育プログラムとして、毎年、韓国ソウルの成均館大学においてMBAセミナー、米国シカゴのノースウェスタン大学において集中講義を開催しています。また、教員や講師陣の面々も、リーマン・ブラザーズ証券やスタンフォード大MBAを取得しゼネラルエレクトリックで勤務した経験のある方、さらにはOBS卒業生も加わり、多彩なラインアップとなっています。

二つ目の「進化」は、多様化した入学者選抜方法です。社会人・一般入試はもちろんのこと、企業推薦枠(7名)に加え、北大大学院からのMBA特別コース枠、学部・大学院5年一貫教育プログラム(学部を3年で早期卒業し入学するプログラム)での入学枠などがあります。今年入学した10期生35名には、企業推薦6名、特別コース1名、一貫教育プログラム2名が含まれています。

三つ目の「進化」は、多彩な入学者のプロフィールです。

ビールのふるさと・ピヤカントリー

サッポロビール園

メールマガジン新規会員登録中!

〒065-0007 札幌市東区北7条東9丁目 2-10 予約センター 電話無料 0120-150-550

QRコードよりアクセス

11:30
22:00
年中無休
※例し12月31日を除く

<http://www.sapporo-bier-garten.jp/>

1期生入学者のうち女性は僅か3名で全体の8%でしかありませんでしたが、10期生では14名と40%を占めるようになっており、今後も女性パワーが躍進していくものと思われます。同じように増加しているのが医療関連業界からの入学者です。医療関連企業からは勿論のこと、医師や看護師、放射線技師の方まで入学されています。さらに、10期生には東京在住で富士通元社長、現在相談役をされている方(69歳)が入学されました。

最後の四つ目の「進化」が、活発化する卒業生の活動です。今年3月に8期生を中心に36名が卒業し、OBSはこれまでに265名のMBAホルダーを輩出しています。その卒業生による活動はMBA会のみならず、戦略MG研究会、パブリックマネジメント勉強会、保健医療関係有志交流会等の各種勉強会やテニス、ゴルフ、日本酒・ワイン等の各種同好会など、その他にも様々な活動が行われております。いずれ

の活動にもOBSの教職員の方々がサポートしていただいております。さらには東京近郊に在住の卒業生によるOBS東京会も開催され、このようなOBによる卒業後の活動は、職場の同僚や後輩、知人のOBS入学にもつながっています。これら四つの「進化」に支えられ、OBSは今年10年目の節目を迎えることができたものと思います。

今後もOBSが発展していくためには、過去に囚われることなく、新たなKFSを求めOBSが変化し続けることと、そして、我々卒業生もOBSとともに進化し続けることが必要です。次の20周年に向けて、我々もOBSとともにより一層前進していきたいと思っております。

最後に、これまでの緑丘会からの暖かいご支援に感謝申し上げますとともに、引き続きOBSおよびMBA会へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻(経営系専門職大学院) 「OBS10周年記念事業」について

1. 実施目的

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻(ビジネススクール)が平成25年度に10年目を迎えることに伴い、日本社会におけるMBAの知名度の向上及びMBA教育のさらなる充実・発展を目的として、10周年記念事業を構想しています。

2. 事業内容(予定)

記念事業①—10周年シンポジウム(札幌開催)～MBA会と連携

- ・目的:北海道におけるMBAの認知度向上
- ・内容:ノースウェスタン大学からクラーク・ケイウッド先生を講演者として招待
- ・ターゲット:北海道の経済界、北海道庁を始めとした行政
- ・実施予定日:2013年8月31日(土)
- ・会場:札幌市内ホテル

記念事業②—10周年シンポジウム(東京開催)～MBA会(東京会)と連携

- ・目的:MBAの社会的認知度向上、同窓会及びOBS修了生との交流深化
他大学ビジネススクールとの交流、文部科学省への成果報告
- ・内容:経済界及び行政から講演者を招待し、講演及びディスカッションを行う
- ・ターゲット:首都圏を中心としたMBAホルダーまたは現在取得を目指している方、MBAに関心のあるビジネスマン、企業経営者・人事、文部科学省など行政機関

- ・実施予定日:2013年8月～2013年12月の間:検討中

- ・会場:東京都内ホテル

記念事業③—OBS修了生との連載企画～修了生からの持込み企画

- ・目的:OBSの社会的認知度向上及び受験生の増加
- ・内容:修了生と連携した企画により、地域との密着度を高めるイベントを実施する
- ・ターゲット:北海道経済界、一般市民
- ・実施予定日:2013年8月～2013年12月の間:検討中
- ・会場:札幌市内

記念事業④—10周年記念冊子の発行

- ・ターゲット:OBS修了生
- ・目的:OBS修了生・在学生及び関係者の交流、次の10年を見据えたOBSの内容議論
修了生の活躍などの追跡調査
- ・発行予定日:2014年度中(予定)
- ・内容:教員からのメッセージ、修了後の成果報告など検討中

〈お問合せ先〉

小樽商科大学OBS10周年記念事業準備事務局
河崎 智之
電話:0134-27-5222
メールアドレス:kawasaki@office.otaru-uc.ac.jp

—講演会報告—

「東日本大震災からの復興へ向けて」 ～被災地の金融機関職員としての体験・教訓を踏まえて～

札幌支部では、去る4月17日(水)18時より札幌サテライトにおいて、株式会社仙台銀行、企画部長の尾形毅氏(平成元年卒 宮城支部副支部長)を講師にお招きして、講演会を開催致しました。

昨年・今年と母校において、非常勤講師として「震災と復興」についての講義を持たれた尾形氏によるこの講演会は、すでに緑丘会本部や宮城支部でも開催され、このたび大学での講義にあわせて、札幌でもご講演いただける運びとなりました。

当日は、宮城支部の及川支部長、福田事務局長、小笠原副支部長もご来札、釧路在住の卒業生や北大関係者、一般の方からの申し込みもあり、総勢37名が参加。実際に被災された立場からの臨場感溢れるお話と映像に、ただ聞き入るばかりの90分でした。震災の記憶が薄れていく中、活字やニュースなどでは知り得なかった被災地の

真の姿を知る、大変貴重な時間となりました。

最後に及川支部長が仰った「復興」は「復幸」であるという言葉は、すべての人の願いでもあります。今私たちにできることは何か、改めて考えていきたいと思えます。

講演会終了後は、隣接するビルの居酒屋に場を移し、熱く親交を深めました。懇親会参加者は26名でした。



新年交礼会を終えて

長瀬 康司
(昭和63年卒)

昭和63年度卒業の当番幹事を代表して、先に開催した新年交礼会の感想を書きたいと思います。

新年交礼会開催に向けた打合せは昨秋から始まり、まずは幹事団を組織することから着手しました。しかし、母校卒業後同期と多くの交流を持ってこなかった私にとって、一緒に協力してくれる仲間を探すことは大変なことでした。その時、支部事務局の皆様の協力で、卒年同期を紹介していただき、また自分では古い年賀状を掘り起こすことでなんとか最小限度の体制を確保することが出来ました。その間、事務局では、新年交礼会の会場予約から、会でのアトラクション等の段取り、そして交礼会の進行スケジュールを固めていただいております。年が明け、当番幹事を含めた顔合わせの機会がありましたが、私は職務の都合で出席できず、メーリングリストを使って直前まで打合せを重ねました。

そして新年交礼会当日を迎えました。当番幹事は全員揃うのか、又、当日の受付作業は粗相なく進めて行けるだろうか。不安は直前まで消えませんでした。気持ちを切り替え、受付作業に神経を集中し、正確な作業と笑顔の対応を心がけました。受付作業は最少の人数でこなさ

ざるを得ませんでした。当番幹事の他、当日参加していただいた先輩・後輩の力添えを得て、何とか無事にこなすことが出来ました。

一方会場内では、臨時総会が粛々と進み、新年交礼会に移っていきました。支部長挨拶、新年記念講演に続き山本学長、緑丘会齊藤理事長からの来賓挨拶が行われ、それに続いて、教育研究功勞により瑞宝中綬章を受賞された沼田久名誉教授の叙勲披露と教授からのお話を聴く貴重な機会に恵まれました。

新年交礼会終了後、事務局、幹事団の反省会が行われ、後輩も数多く集まってくれました。集まった後輩からは、本日参加できてよかったという感想が数多く聞かれました。また、若年次の卒業生の参加が少ないことについて、自分達の責任のように自ら語る意見が数多く出されました。皆、母校のことを真剣に考え、そして著名な諸先輩を輩出し、いまなお脈々と受け継がれている緑丘魂を、改めて気づかされました。臨時総会でも支部組織の拡大拡充のため、支部会則の改訂が承認されましたが、少なくとも参加している後輩らには気持ちが通じているとの意を強くした次第です。



日本の保険は、ジャパンが変える。



株式会社 損害保険ジャパン 札幌法人営業部 自動車営業第二課

〒060-8552 北海道札幌市中央区北1条西6-2 TEL.011(281)8248 ホームページアドレス <http://www.sompo-japan.co.jp>

—キャンパス情報—

緑丘祭の復活にあたって—Show Diving!—

小樽商科大学
第61回緑丘祭実行委員長
吉田 匡 克

私は、今回の第61回緑丘祭実行委員会の委員長を努めております、社会情報学科3年生の吉田匡克と申します。現在緑丘祭実行委員会は、1年生18人・2年生16人・3年生14人の合計48人で活動しております。(今の人数は私が把握している限りで一番多い人数だと思います。)昨年度は、誠に残念ながら緑丘祭を開催することは出来ませんでした。今年度は6月28日(金)～6月30日(日)の3日間日程で開催されます。

今年、緑丘祭を開催するにあたって、緑丘祭実行委員会で今一度緑丘祭のあり方について考えました。これは、昨年度の飲酒事故が影響したということはもちろんですが、中止したことをただ単にネガティブに捉えるのではなく、緑丘祭の新たな挑戦へと進む、一つのきっかけにするべきだと考えたからです。緑丘祭中止になった時に集計したアンケートなどを元に、商大生にとって緑丘祭はどんな場所だったのか、緑丘祭を開催する意義などを考えました。「参加すると楽しくて、何年も続いて欲しいと思われる、愛される緑丘祭を目指そう」ということや「結果的に小樽商大全体の活力を生み出す様なシーンになって欲しい」という考えになり、これらを、緑丘祭実行委員会の全体の理念としてよりわかりやすくまとめました。

委員会全体の方向性を定めた後は、今年の緑丘祭の色付けをどうしていくか?という問題がありました。今年だからこそ緑丘祭をどうしていくのか。これが、今回のテーマである“Show Diving!(ショウダイビング)”です。日頃から頑張っている商大の姿を多くの人に見せる(Show)場にしたいということ。今年度は挑戦の年ということで、伝統を守りつつも新たなことに飛び込んでいく(Diving)と

いう意味があります。

このテーマを軸に、様々な企画をご用意しております。今の小樽商大の美女を決める“ミス小樽商大”、商大で勉強していることを発表する場“アカデミック企画”、20年以上も続いている伝統企画“流しそうめん”や大学生が本気で作る“お化け屋敷”など新しいことへと果敢にチャレンジしています。ここには書ききれないほど、他にも企画はたくさんあります。また、緑丘祭実行委員会主催の企画はどれも無料で参加することができます。

最後になりますが、今回このように寄稿できる機会をいただきました、緑丘会札幌支部の方々には心より感謝申し上げます。繰り返しになりますが、今年の緑丘祭は6月28日(金)～6月30日(日)の3日間開催となります。新しくなった緑丘祭へと、ぜひ遊びに来てください。



囲碁逍遙

札幌緑丘囲碁クラブ会長 宮 充
(昭和34年卒)

〔これからの課題も含めて〕

ここ数十年、囲碁を唯一の趣味として嗜んできた。碁を打つ友との挨拶で、今日も、あしたも、「よいお天気で、ご機嫌いかが」と声を掛け合い、励ましあって、絆を深めていく。プロの碁人ではない私達は、何気ない所作の中で碁道を求め、技術に磨きをかけていく。一方碁は勝つためだけの競技で、そのためには何でもありの競技と捉えることには、いささかの異論を感じる頃でもある。

昨年、喜寿を過ぎた私には、次の伊藤博文の書、『賢愚老此中』の文字には、妙に親しみを感じる。勿論、此の中とは碁盤の事だが、余程、碁が好きであったに違いない。賢者愚者も人々は、皆、碁を楽しむことで、人生の弾みを体験し、知ることになる。

「古い」を「老ける」と読むと、知らず知らずに碁に溺れてしまう戒めの教訓ともなるが、一方、一字「古い」を「活き」に換えた黒石円六も、凄いい判り易い。

十九路の盤面に置かれる黒石と白石のなかに、人生の老いと円熟、人生そのものの有為転変を見るのである。

中国のありふれた町の碁会所に見掛けるという次の一句『縦横局中蔵宇宙 黒白子裏見人生』も、盤面に宇宙が蔵(かく)され黒石と白石のなかに人生を見るとの意だろうか。

〔次の一手は?〕

日本棋院の院生は19才で初段を得ないと卒業者と呼ばれる。変な言い方だが、プロは院生の落第生なんだそうだ。幼少重視は、碁の世界では常識である。

中国、韓国等の教育現場のそれは、一層厳しく、激しい。普通小学校の囲碁クラブ活動、子供対象の囲碁教室、青少年宮での地元棋士による課外授業等々、いくらでも挙げられる。

今の時代の子供達は、パソコンを使い、ネット画面を見ながら育った。盤面に現れる石の並び方をイメージや直接的な知覚で捉え、シンボルとして記憶し、更に空間的に広げた想像力を持って次の一手に着手できる。理屈は要らないのだ。

プロとの話題となっている「電脳」の世界は、どうなのだろうか。事実の認識、知識や体験、細部からの事実の積み上げ、防御? 攻撃? 論理的思考で局所のレイアウトを有限の時間の中で設計する。目標のための最適な組合

せが、「デザイン」となって盤面に表現される。

十九路の盤面で最初の一手目は361種、次の二手目は360種となる。次の一手は各々の掛け算が、その数となるので、361の階乗がその変化数で、次の一手が億、兆の世界になってしまう程である。無限の広がりを持つ千変万化の中からの選択である。因みに、盤面、縦、横、各々5本、盤端を含めた変化数は、実際の計算によれば8472億8860手になるとのこと。同じ「デザイン」が、殆ど選択されない理由でもある。

〔囲碁事情〕

プロの世界の囲碁元年は、1988年である。富士通杯と応氏杯(台湾、応昌期の出資)の世界選手権がそれであり、翌年には韓国の東洋証券杯も加わった。普通のサラリーマンでは稼げない高額賞金が人気を呼び、世界の囲碁事情を一変させたという。その後、主要な世界戦は五つ程になり、小規模も加えれば、十以上になる。

韓国の実力が圧倒的であり、中国も1枚抜けている。元年より二十数年を経るが、90年代の日本の強さがすっかり影を潜めてしまい、若手、日本プロの発奮が待たれて久しい。

前述の幼少重視の教育は、囲碁人口の増加に直結し、更にまた女性への人気とその実力向上に顕著に現れた。台湾出身の女性が、国内、女子日本プロのタイトルを総取りしている現実がある。

あなたは、碁ができますか? 中国語では『ニィ ホエイ シア ウェイ チィ マ ?』となる。『ウェイ チィ』は[圍碁]のことだが、欧米では[碁]と理解されている。4千年の歴史を誇る[圍碁]中国だが、世界に普及活動を惜しまなかった日本の努力には、完敗している。世界の文化遺産に果たした日本の役割は、感謝されるべきでしょう。

緑丘の諸氏に伝えたい。緑丘の囲碁定例会は、年4回と少ない。毎週水曜日の自主参加には是非、参加して元気な顔を見せて欲しい。『囲碁道場』席亭には、気持ち良く、気軽に対局をしていただけるし、質問さえあれば、すぐに答えてくれる。

私は今でも、緑丘が育んだ風土、それは人が学び、研鑽し、努力する日常の姿こそが大事とする風土だと理解しているし、囲碁交流のなかで確信していることである。

緑丘サテライトセミナー報告

緑丘サテライトセミナー副委員長 福井郁子
(昭和57年卒)



3月16日第22回緑丘サテライトセミナーは、盛況のうち無事終了いたしました。

昭和63年卒 十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村文吾氏の、地域に貢献する十勝バスの経営改革について、貴重なお話を伺うことができました。戦略的営業強化について具体的な事例を挙げながらの説明は、本当にわかり易く、地方における公共交通の在り方を考える

良い機会になりました。

まず、バスの乗り方説明会によるお客様の不安の解消。続いてエリアや対象者を絞った営業活動。特に高校生の通学定期の土日乗り放題という発想には驚きました。さらに、「目的提案」による営業強化。「バスは移動の手段である」ため「病院へ行く」には、「どのバスに乗るのか」というように目的別に情報を発信。その目的提案型の広がり「ガーデン巡りパック」などの企画商品の開発に至っている。

地道な努力をあきらめないで続けることが成功への確実な道なのだと思えて感じるセミナーでした。参加者は35名でした。

また、その後希望者を募り、野村氏を囲んで昼食会を開催いたしました。こちらでは、小樽商大在学中の硬式庭球部での逸話など気さくにお話いただき、21名の参加者の方々と和気藹々と過ごすことができました。

今後も、当緑丘サテライトセミナー委員会では、多様なセミナーを企画したいと思っております。皆様のご参加よろしくお願いいたします。

女子部会だより

平田尚美
(昭和58年卒)

昨年、福井芙美子副支部長を中心に札幌支部女子部会が発足、最初の活動として、平成25年3月実施の「おたる案内人検定試験」の勉強会を開催することになりました。

案内人検定1級をお持ちの成松郁子さんに講師をお願いし、昨年12月から今年3月まで、計4回の勉強会を行いました。はじめは全く分からずに後悔しましたが、講師の方の適切なアドバイスと、小樽生まれの福井郁子さんの地元ならではの豆知識、歴史的建造物保存に携わる山谷智恵子さんの旬な情報も交えながら、徐々に理解を深めていくことができました。

検定試験は3月24日、小樽商科大学210番教室で行われ、無事に認定証を手にすることができました。講師の成松さんには心より感謝を申し上げます。「4年間過ごしたのに、実は小樽をあまり知らない」との思いでスタートした勉強会でしたが、当時の様子を語り合い、知識や資料を共有することで、意欲をなくさず続けることができました。世代が違うそれぞれの4年間は、そのまま小樽の変遷と重なり、昭和50年代はまさに運河保存運

動の真っ最中で、自分も小樽の歴史の中で過ごしていたのだと思うと感慨深いものがあります。

さて、今年女子部会は、この成果を生かして小樽ツアーを企画、人気の運河クルーズも体験したいと考えています。他にも、お茶会や読書会などを検討中です。案内人検定の勉強会も、さらに1級をめざし、また今回の合格者が講師となり継続していきたいと思っております。女性の皆様の参加をお待ちしております。



平成25年ゴルフ会日程

開催日	コース名	スタート時間	備考
5月5日(祝・日)	茨戸CC	8時00分	プレー料金 9,910円 ☎0133-64-2115 7組
7月20日(土)	札幌国際CC 島松コース	13時00分	プレー料金 12,500円 ☎011-376-2221 6組
8月9日(金)	小樽カントリー倶楽部 新コース	8時10分	プレー料金 12,645円 ☎0134-62-5050 8組
9月23日(祝・月)	札幌GC 由仁コース	6時53分	プレー料金 12,330円 ☎0123-83-2777 7組

競技方法

- ・今年度も昨年同様年4回開催とします。
- ・5月例会はダブルペリア、その他例会は申告ハンディ戦を行います。
- ・使用ティはレギュラーツィですが、満70歳以上の会員は、シルバーツィを設けます。
希望によりどちらかを選択出来ます。(HCはレギュラーツィ選択時と同等)
- ・各例会はすべて支部長杯争奪戦とします。
なお、各回優勝者に支部長杯を贈呈し、取り切り戦は行いません。
- ・会費は3000円とします。(昼食・賞品代に充当)但し、午後スタートとなる7月コンペは2000円とします。(食事は出ません)

お問い合わせ

緑丘会札幌支部 ☎/FAX:011-231-6900 Mail:ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

記念同期会・行事のご案内

緑丘サンキュー会45周年同期会

今年、小樽商科大学卒業45周年を迎えるにあたり、緑丘サンキュー会同期会を下記の通り企画いたしました。
つきましては、多くの皆様にご出席いただきたく、取り急ぎ日程をお知らせいたします。皆様お誘いあわせの上、ご出席ください。
奥様同伴でのご出席も歓迎いたします。

- | | |
|--|---|
| 1. 前夜祭 平成25年9月9日(月)17時より
場所：ピヤケラー札幌開拓使(札幌ファクトリー内) | 3. ゴルフ 平成25年9月10日(火)8時31分第1組スタート
場所：小樽カントリー倶楽部 |
| 2. 同期会 平成25年9月10日(火)18時より
場所：小樽朝里クラッセホテル | お問合せ先 発起人代表 千葉 万藏(☎011-694-0786) |

第25回おたる運河ロードレース大会 開催のお知らせ

2013年6月16日(日)、おたる運河ロードレース大会が開催されます。小樽色内ふ頭公園を9時にスタートします。エントリーは既に終了しておりますが、小樽港の潮風を満喫しながらの応援、ご観戦に、ぜひ足をお運びください。

丘美会絵画展2013

と き 2013年6月25日(火)～30日(日) AM10:00～PM6:00(最終日はPM4:00まで)
と ころ ギャラリー大通美術館 中央区大通西5 大五ビル

緑丘戦没者慰霊祭にご参列を

平成25年8月15日(木) 11:59～

小樽商科大学研究棟の前、白樺林の中にひっそりと建つ緑丘戦没者記念塔。

学徒出陣で亡くなられた学生、大学教職員347名の御霊を慰めるべく、昭和42年、当時の母校教授、松尾正路氏が卒業生有志に呼び掛け資金を調達、昭和44年に建立されたものです。塔内部には戦没者ひとりひとりの銘が刻まれています。

毎年、終戦記念日の8月15日に、ご遺族、緑丘会関係者、大学教職員、学生が列席し、戦没者慰霊祭が行われます。今日の平和が諸先輩の犠牲の上に成り立っていることを忘れないためにも、多くの方にご参列いただきたく、ご案内申し上げます。



亡くなられた会員の皆様 (平成24年11月～平成25年5月受付まで)

昭和9年	梅野 彌太郎	2013年3月10日	ご逝去
昭和14年	岡嶋 紀四郎	2013年1月10日	ご逝去
昭和15年	井上 定博	2012年4月15日	ご逝去
昭和16年	山中 茂寿	2012年11月12日	ご逝去
昭和18年	鯨岡 正年	2006年12月6日	ご逝去
昭和24年	加藤 俊治	2012年10月25日	ご逝去
昭和28年	義村 政見	2012年11月19日	ご逝去
昭和31年	勇崎 俊明	2013年2月6日	ご逝去
昭和42年	高瀬 洋	2013年4月27日	ご逝去
昭和43年	前田 芳男	2013年2月3日	ご逝去
昭和44年	善波 昇	2012年12月25日	ご逝去
昭和53年	立野 哲夫	2013年2月11日	ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

お知らせ

このたび、平成卒のお2人に常任幹事として支部運営にご協力いただくことになりました。若い世代のご活躍を期待しております。どうぞよろしく願いいたします。



左より 八十島忍さん(平成5年卒)、歌原邦芳さん(平成7年卒)、長瀬康司さん(昭和63年卒)

編集後記

始めに、広報にいつもご協力いただきありがとうございます。委員長としてお礼申し上げます。

「緑丘さっぽろ」編集にあたり、考えることは如何に幅広い年代の緑丘会員の皆様に興味を持って、読んでいただけるかです。

それ故、出来るだけ、新しいコーナーやテーマを考えていますが、今回、10周年を迎えたMBA会、新組織の女子部会のコーナーを設けました。

「緑丘さっぽろ」の紙面の刷新はいつも求められる課題なのですが、それにはトップ人事の入替えが手取り早い方法かと思っています。私も広報委員長を引き受け10年程の年月が流れました。早く後進にバトンタッチをしたいと考えています。

そして、広報への若いOB、OG緑丘会員の参画を待ち望んでいます。是非、手をあげてほしいし、ご推薦いただきたく、紙面をお借りして、お願い致します。

広報委員長

昭和45年卒 伊藤 光安

緑丘会札幌支部

電話/FAX：011-231-6900

ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>

メール：ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

緑丘会札幌支部は、会員の皆様の会費によって運営されています。

緑丘会本部会費とは別に、札幌支部会費として年額3,000円を申し受けております。3年分、5年分とまとめてお支払いになりますとお得な割引制度もございます。是非、支部会費の納入にご協力をお願い申し上げます。